

関係者各位

学校法人 工藤学園
理事長 中川佳代子

「令和4年度 愛犬美容看護専門学校 自己点検・評価報告書」の公表について

令和4年度の自己点検・評価結果をまとめましたので、公表いたします。

今後は、結果にある改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思います。

今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

は じ め に

学校法人 工藤学園は1978年（昭和53年）に北海道愛犬美容学園として設立されて以来、トリミングや動物看護師の深い知識と高度な技術を身につけるとともに、ペットを通じて社会に貢献できる人材育成に力を注いでまいりました。

2011年（平成23年）、北海道より認可を受け、学校法人工藤学園「愛犬美容看護専門学校」として生まれ変わり、新たな教育を推進することになりました。

本校では、人とペットがより良い関係で共存できる社会を目指すために、技術だけでなく、他者への思いやり、挨拶や言葉遣い、コミュニケーション能力など、どの社会でも活躍できる「人間力」を養成することにも心がけ、トリマー、動物看護師としてこれからの時代に必要とされる「オンリーワンの人間」を育てていきます。

今後とも、トリマー・愛玩動物看護師育成のために、教職員一同、精進を積み重ねて参る所存でありますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学校法人 工藤学園
理事長 中川佳代子

令和4年度自己評価と学校関係者評価報告書

1. 学校の教育理念・目標

【教育理念】
動物愛護の精神のもと、生き物すべての生命に思いやりの心もち、動物達と豊かに共生することを旨とする。
さらに、学問・技術の修得にとどまらず、挨拶や礼儀を重んじ、正しい社会性を育む。

【教育目標】
①専門知識と技術を習得すると共に、自己研鑽に励む人材を育成する。
②地域の発展・向上に貢献できる人材を育成する。
③職業人としての自立を目指す。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教育理念・目標の周知を徹底する。情報システム化を図り、業務の改善を目指す。

3. 評価項目の達成及び取組状況（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）

（1）評価項目の達成及び取組状況

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	4	理念・目標をより深くし、“あたりまえの、もっと先へ。”のテーマをホームページにおいて周知を行っているが、更なるPRの場を期待する。
・ 学校における職業教育の特色は何か	3	3	
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	3	3	
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	4	
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	4	

（2）学校運営

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	3	教務・財務の組織整備はかなり確立されてきており、また意思決定も明確になっている。
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	4	
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4	
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3	3	
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4	
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	3	
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4	
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4	

（3）教育活動

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	3	カリキュラムの見直しを開始しているため、評価できる。インターンシップや教員研修などはこれからも安全対策をしっかりと行ってほしい。
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	3	
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	4	
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	3	
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4	
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3	
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	3	
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4	
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	3	
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4	
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3	
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	4	
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	3	

（4）学修成果

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 就職率の向上が図られているか	3	4	資格取得率の向上のため、各学科・学生に関する情報を共有し、更なる対策が必要である。卒業生の意見を授業で活用しているのは評価できる。
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	4	
・ 退学率の低減が図られているか	4	4	
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	4	
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	4	

(5) 学生支援

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	経済的支援体制、課外活動に対する支援体制はまだである。学生相談の組織体制は整備されている。
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	3	4	
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2	2	
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	4	
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	2	
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	2	2	
・ 保護者と適切に連携しているか	4	4	
・ 卒業生への支援体制はあるか	4	4	
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3	
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4	

(6) 教育環境

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3	校内改修を行い、施設の充実が進んでいる。防災面は地震発生による避難訓練を行っているが、動物との避難方法の確率が必要である。
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3	
・ 防災に対する体制は整備されているか	3	3	

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	3	3	募集活動に取得可能な資格を強く出すべきである。
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	4	
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	4	

(8) 財務

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	4	特になし
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4	
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	

(9) 法令等の遵守

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4	特になし
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	3	
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	3	
・ 自己評価結果を公開しているか	4	4	

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4	特になし
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	3	
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2	2	

(11) 国際交流

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2	3	留学生に対する在籍管理は出入国管理局等、適切に手続きや報告を行っている。
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	4	
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3	3	
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2	2	

学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価委員

評価委員	所 属
上 西 陽 介	トリミングサロン Doggy Life
福 本 直 美	DOG SALON pawprint
佐 藤 蘭 子	えとう動物病院
佐々木可愛美	湯山動物病院

2. 委員会開催日時

開催日時：令和6年2月5日 17:00～18:00
開催場所：愛犬美容看護専門学校（オンライン）

3. 委員会次第

(1) 開 会

(2) 委員長の選出

評価委員全員の意見で福本直美氏を委員長に選出した。

(3) 令和4年度自己点検・評価報告の説明

学校側で行った自己点検・評価についての説明を行い、今後の課題や問題点について報告した。

(5) 委員による意見交換

自己評価報告後、評価委員から改善点や今後の課題について意見をいただいた。

1. 評価項目の達成及び取組状況

教育理念・教育目標の項目は、更なる周知をしてほしい。

2. 学校運営

組織整備が順調に進んでいる点や意思決定の場が明確になってきている点は評価する。

3. 教育活動

カリキュラムの見直しにより更なる授業の充実を期待する。
インターンシップや教員研修の安全対策を引き続きしっかりしてほしい。

4. 学修成果

資格取得率向上のための学生に関する情報共有を引き続き行ってほしい。

5. 学生支援

経済支援体制に何か方法はないだろうか。

6. 教育環境

防災に関しては、動物と一緒に想定訓練が必要と考えられる。

7. 学生の受入れ募集

ホームページで取得可能な資格をもっと強調してほしい。

8. 財 務

学校の財務基盤は予算計画に基づいて作られている。また、予算・収支計画は理事会・評議員会の承認を得ており有効かつ妥当なものとなっている。
会計監査も監事が適正に監査を行っており、毎年理事会・評議員会に提出している。
財務情報公開の体制は整備されている。

9. 法令等の遵守

個人情報に関しては、在校生、または体験入学生などに説明を行い、対策をとっているが、引き続きさまざまなパターンを想定すべきである。

10. 社会貢献・地域貢献

徐々に活動を再開してほしい。

11. 国際交流

留学生の手続きに関して教職員の研修に取り組むべきである。

(6) 閉会

今回の貴重なご意見・ご指導を基に、今後は徐々に問題解決・検討を解決していきたい旨を述べ、閉会した。

情報公開

【1】学校の概要・目標及び計画

●学校名 愛犬美容看護専門学校 所在地 北海道札幌市中央区南9条西7丁目1番31号

●学校の沿革・歴史

昭和53年4月 北海道愛犬美容学園 開校
平成21年9月 北海道愛犬美容学園を礎に私立専修学校設置計画書を提出
平成22年7月 学校法人 工藤学園 設置認可受理
平成23年4月 愛犬美容看護専門学校 開学
トリマー科・動物看護科（2年制）、トリマー夜間科（3年制）
トリマー専攻科（1年制）、トリマー高等専攻科（2年制）を設置
平成26年3月 トリマー科・動物看護科が文部科学省「職業実践専門課程」として認定
令和1年9月 「高等教育の修学支援制度」の対象校となる。
令和5年4月 動物看護科を3年制に変更
令和6年4月 愛玩動物看護科（3年制）・トリマー高等専攻科（2年制：昼）を設置

（認定校） 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ インターナショナルキャットクラブ
公益社団法人 日本愛玩動物協会 一般社団法人 日本小動物獣医師会

●学校の特徴

トリマー・愛玩動物看護師の養成
JKCトリマー・ハンドラーライセンス、愛玩動物看護資格、愛玩動物飼養管理士、キャットグルーマーライセンスの取得を目指す。

●目標及び計画

（教育理念） 動物愛護の精神のもと、生き物すべての生命に思いやりの心を持ち、動物達と豊かに共生することを旨とする。
さらに、学問・技術の修得にとどまらず、挨拶や礼儀を重んじ、正しい社会性を育む。
（教育目標） ①専門知識と技術を習得すると共に、自己研鑽に励む人材を育成する。
②地域の発展・向上に貢献できる人材を育成する。
③職業人としての自立を目指す。

●その他諸活動に関する計画

（防災計画） 校長を責任者とし火災通報・校内放送・消火活動・生徒誘導・救護等、教職員の役割分担を決め、年1回防災訓練を実施している。

【2】各学科の教育（令和5年度）

●定員数・修業年限・在籍数

・トリマー科	定員40名	修業年限2年	（在籍数 1年15名 2年16名）
・動物看護科	定員40名	修業年限2年	（在籍数 1年15名 2年6名）
・トリマー専攻科	定員20名	修業年限1年	（在籍数 1年24名）
・トリマー高等専攻科	定員20名	修業年限2年	（在籍数 1年8名 2年7名）

●カリキュラム

トリマー科 JKC指定のカリキュラムに基づく
動物看護科 動物看護師国家資格化推進委員会からの教育課程に基づく

●進級・卒業の要件等

学科試験・実習の成績等により判断する。

●取得を目指す資格

JKC公認トリマーライセンス	愛玩動物看護師資格
JKC公認ハンドラーライセンス	愛玩動物飼養管理士
ICC公認キャットグルーマーライセンス	損害保険募集人一般試験
動物診療助手	ペット栄養管理士
ペットフード販売士	ペットBLS

●資格取得・検定合格等の実績（令和5年度）

JKC公認トリマーライセンス	A級100%	B級95.4%	C級100%
JKC公認ハンドラーライセンス	C級100%		
愛玩動物看護師資格	100%		
ICC公認キャットグルーマーライセンス	A級100%	B級100%	C級100%
損害保険募集人一般試験	85.7%		
愛玩動物飼養管理士	1級66.6%	2級86.3%	
ペットフード販売士	100%		
動物診療助手	53%		

●卒業後の進路（令和5年度）

動物病院・ペットショップ等 就職率87.3%（全学科合計）

【3】教職員

●教職員数

獣医師	7名	JKC公認トリマー教士	1名
JKC公認A級トリマー	9名	JKCA級トリマー・愛玩動物看護師	1名
JKCB級トリマー・愛玩動物看護師	1名	愛玩動物看護師	2名
JKCB級トリマー	1名		

●教職員（スタッフ）紹介

当校のホームページ等に掲載

●教職員の組織・活動

トリマー部門・愛玩動物看護部門により組織される。
研修の参加、トリマー・愛玩動物看護師の普及活動を行う。

【4】キャリア教育等

●キャリア教育への取組状況

企業と連携してキャリア教育の充実を図る。

●実習・実技等の取組状況

企業と連携し、実技・実技等の科目における現場実習（インターシップ）を行い、業務の流れや礼儀などを学び、即戦力をなす人材を育成する。

●就職支援等への取組状況

社会人の知識を持ち、また資格の取得を前提として、就職斡旋等を行う。

【5】様々な教育活動・教育環境

●学校行事への取組状況

入学式・卒業式
体育祭
学年別レクリエーション

全国トリミング競技会
ドッグショー・動物愛護フェスティバルの参加

●地域活動 郊外清掃 等

【6】学生の生活支援

●学生支援への取組状況

学生の健康管理を気をつけ、中途退学者を出さないようコミュニケーションをとり、学生の掌握に努める。
留学生に対応できる環境づくりを行う。

【7】学生納付金・就学支援

●生徒納付金の取扱い

入学要項・ホームページに記載

●活用できる就学支援措置の内容等

特待生入学免除制度
高等教育の修学支援制度

日本学生支援機構 奨学金制度
日本政策金融公庫 国の教育ローン

【8】学校の財務

令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部	
科 目	令和5年度
学生生徒等納付金収入	90,212,571
手数料収入	2,688,858
補助金収入	11,951,600
付随事業・収益事業収入	5,494,700
受取利息・配当金収入	979
雑収入	195,130
借入金等収入	26,300,000
前受金収入	68,617,250
その他の収入	15,883,326
資金収支調整勘定	-61,504,163
前年度繰越支払資金	113,508,521
収入の部合計	273,348,772
支出の部	
科 目	令和5年度
人件費支出	51,044,839
教育研究経費支出	23,569,004
管理経費支出	27,983,301
借入金等利息支出	185,971
借入金返済支出	1,590,000
施設関係支出	9,068,572
設備関係支出	1,425,720
その他の支出	20,104,354
資金支出調整勘定	-3,733,895
翌年度繰越支払資金	142,110,906
教育活動収支差額	273,348,772

事業活動収支計算書

(単位：円)

教育活動収入		科 目	令和5年度
事業活動収入の部	教育活動収入	学生生徒等納付金	90,212,571
		手数料	2,688,858
		経常費等補助金	11,951,600
		付随事業収入	5,494,700
		雑収入	195,130
		教育活動収入計	110,542,859
教育活動支出		科 目	令和5年度
事業活動支出の部	教育活動支出	人件費	51,044,839
		教育研究経費	24,364,872
		管理経費	32,340,644
		教育活動支出計	107,750,355
教育活動収支差額			2,792,504
教育活動外収入		科 目	令和5年度
事業活動外収入の部	教育活動外収入	受取利息・配当金	979
		教育活動外収入計	979
教育活動外支出		科 目	令和5年度
事業活動外支出の部	教育活動外支出	借入金等利息	185,971
		教育活動外支出計	185,971
教育活動外収支差額			-184,992
経常収支差額			2,607,512
特別収入		科 目	令和5年度
特別収入	特別収入	資産売却差額	8
		資産処分差額	0
特別収支差額			8
基本金繰入前当年度収支差額			2,607,504
基本金組入額合計			-4,000,000
当年度収支差額			-1,392,496
前年度繰越収支差額			64,017,417
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			62,624,921

貸借対照表

(単位：円)

資 産 の 部	
科 目	令和5年度末
固定資産	139,853,351
有形固定資産	138,953,700
その他の固定資産	899,651
流動資産	145,714,958
資産の部合計	285,568,309
負 債 の 部	
科 目	令和5年度末
固定負債	38,517,500
流動負債	75,272,875
負債の部合計	113,790,375
純 資 産 の 部	
科 目	令和5年度末
基本金	109,153,013
繰越収支差額	62,624,921
純資産の部合計	171,777,934
負債及び純資産の部合計	285,568,309

【9】学校評価

●自己評価・学校関係者評価の結果

ホームページにて公開

●評価結果を踏まえた改善方法

評価結果を基に改善を目指す